

第83期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

CENTRAL 中央自動車工業株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 4丁目2番30号
電話(06)6443-5182(代表) FAX(06)6443-6654
<https://www.central-auto.co.jp>

証券コード 8117



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第83期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
坂田 信一郎



事業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として続き、経済活動の自粛等により企業活動に大きな影響を及ぼしました。ワクチン接種の普及により景気回復の兆しが見られたものの、変異株の感染再拡大に加え、地政学的リスクの高まりにより、世界経済に深刻な懸念が生じております。

国内の新車総販売台数(軽を含む)は、堅調な受注状況のなか、半導体不足やコロナ禍によるサプライチェーンの混乱での減産により供給が追い付かず、前年比9.5%減の約422万台で、3年連続の前年割れとなりました。内訳は、登録車が同8.2%減の約266万台で、軽自動車においても同11.5%減の約155万台となりました。

このような景況下、当社では、感染防止対策を継続し、地域密着型営業を推進しながら異業種を含めた新規開拓に一層注力

するとともに、引き続き付加価値の高いオリジナル商材等の更なる拡販に努めました。また、人員の拡充とサービス体制の強化により、新たな需要に対応したビジネスモデルの構築に注力いたしました。

これにより、当社グループの売上高は306億93百万円(前年比111%)、営業利益は64億83百万円(同120%)、経常利益は69億66百万円(同116%)、親会社株主に帰属する当期純利益は46億89百万円(同121%)となりました。

当期末の配当金につきましては、1株当たり36円とさせていただきます。すでに中間配当金として1株当たり34円をお支払いいたしておりますので、通期の1株当たりの配当金は普通配当で前期比10円増配の70円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(自動車部品・用品等販売事業)

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車販売の減少による影響を受けましたが、感染防止対策を継続しながら地域密着型営業を一層強化し、新商品および高付加価値商材の拡販と新規開拓に注力しました。また、中之島R&Dセンターを活用し、更に性能を高めた新商品の開発を進めるとともに、法改正を見据えたアルコール検知器の拡販およびブランド構築に努めました。

海外部門では、需要の回復がみられるなか、コロナ禍によるコンテナ船不足や運賃の高止まり等の影響を受けましたが、顧客・仕入先はもとより物流業者とも連携し需要に対応するとともに、引き続き現地拠点やオンラインを活用した新規提案に努めました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、主力商品で

あるCPCブランド商材の生産および前期より生産を開始した新商品・新規ブランド商材の増産に加え、新規アイテムの追加により生産量が増加しましたが、生産設備の増設と人員の増員により迅速に対応いたしました。

これにより、売上高は250億22百万円(前年比111%)、セグメント利益につきましては60億72百万円(同109%)となりました。

(自動車処分事業)

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社ABTは、コロナ禍による交通量減少や安全装置の普及のなか、前年度とほぼ同水準の取扱い台数となりましたが、中古車市場の活況や鉄スクラップ相場の高騰を追い風とし、効率のかつ安定した事業運営に努めました。

これにより、売上高は56億70百万円(前年比113%)、セグメント利益につきましては4億9百万円(前年同期セグメント損失1億76百万円)となりました。なお、前連結会計年度においては、株式会社ABTの子会社化に伴う無形固定資産の減価償却費4億25百万円を計上しておりましたが、当該無形固定資産の償却につきましては、2020年11月をもって終了しております。

今後のわが国経済は、長期化する新型コロナウイルスの影響とともに、ロシア・ウクライナ情勢や円安を通じた原材料価格の上昇など、経済活動に深刻な懸念が生じております。混乱する情勢のなか、物流体制の確保や安全保障面等、サプライチェーン全体の再構築が必要となり、景気の先行きは一層不透明となっております。

こうした状況下、当社グループは、国内外における市場環境

の変化を注視し、新たに生まれる潜在ニーズに対応すべく新商品の開発と改良を進めながら、地域密着型営業を通じて、新規開拓ならびにお客様と更なる関係強化を図るため、営業拠点と人員体制の拡充に努めてまいります。また、半導体をはじめとする電子部品等の原材料不足の環境下、2022年10月施行の道路交通法施行規則改正に向け、アルコール検知器の安定供給に向けて努力し、新たな市場開拓とブランド構築を積極的に進めてまいります。さらに、「経営企画室」を中心としたM&Aや新規ビジネスへの積極的な投資と、新たに設置した「経営諮問委員会」によるコーポレートガバナンス体制の構築を推進するとともに、公共施設に対する衛生管理商品の寄贈等、社会と共存する企業としてSDGsやESGへの投資も継続しながら、企業価値向上に積極的に取り組んでまいります。

そして、当社の将来を担う持続可能な企業を志向する人材を育成するため、「インテグリティ」を行動指針として掲げ、教育体制の更なる強化と業務効率化を実現した労働環境の整備を通じて営業力と組織力の向上を図り、新たな需要を創造しながら社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長 坂田 信一郎

会社の概要

設立	1946年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 302名 当社の従業員数 258名

事業内容

当社：自動車部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入
連結子会社：自動車用品製造および自動車部品、用品販売ならびに輸出入
損害保険会社の全損認定車両処分に関わる事業

国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(06)4803-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0012 広島市西区中広町1-4-34 電話(082)503-1350(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒761-8031 高松市郷東町4-17 電話(087)881-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 1F 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒811-1303 福岡市南区折立町11-10 電話(092)584-1333(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒862-0912 熊本市東区錦ヶ丘13-8-102 電話(092)584-1333(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	中之島R&Dセンター	〒530-0005 大阪市北区中之島4-1-15 電話(06)6443-5846(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	東日本物流センター	〒345-0012 埼玉県北葛飾郡杉戸町深輪398-13 センコー(株)埼玉北支店杉戸PDセンター内 電話(0480)53-7112(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸PDセンター内 電話(078)990-0722(代表)
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市瑞穂区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

海外事業所

デトロイト(米国)、シンガポール、ドバイ(UAE)、ジャカルタ(インドネシア)、マニラ(フィリピン)、広州(中国)、ヤンゴン(ミャンマー)、台北(台湾)、クアラルンプール(マレーシア)、ホーチミン(ベトナム)

子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)
CAPCO PTE LTD(シンガポール)
CAPCO USA, INC.(米国)
株式会社ABT(東京都)

株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当事業年度末の株主数		2,884名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE FIDELITY FUNDS	1,475	8.01
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.75
株式会社三菱UFJ銀行	888	4.82
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	794	4.31
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.10
上野万里子	685	3.72
TPR株式会社	663	3.60
光通信株式会社	598	3.25
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	533	2.89

(注) 持株比率は自己株式(1,584,597株)を控除して計算しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		30,693,222
売上原価		18,149,313
売上総利益		12,543,908
販売費及び一般管理費		6,060,901
営業利益		6,483,007
営業外収益		540,747
受取利息及び配当金	118,470	
持分法による投資利益	315,157	
その他	107,120	
営業外費用		57,499
売上債権売却損	22,403	
支払手数料	13,592	
その他	21,504	
経常利益		6,966,255
税金等調整前当期純利益		6,966,255
法人税、住民税及び事業税	2,252,820	
法人税等調整額	22,228	2,275,048
当期純利益		4,691,206
非支配株主に帰属する当期純利益		1,942
親会社株主に帰属する当期純利益		4,689,263

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

取締役と監査役 (2022年6月28日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
専務取締役	鳥野 善文
常務取締役	近藤 雅之
取締役	柿野 雅文
取締役	廣内 学
取締役	久保井 聡明
取締役	住吉 哲也
取締役	増田 文弘
取締役	酒井 規光
取締役	AHMED SAJJAD
監査役	具足 彰治
監査役	中山 正隆
監査役	堀内 武文

- (注)1. 取締役 久保井聡明およびAHMED SAJJADの両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2. 具足彰治、中山正隆、堀内武文の3氏は、会社法施行規則第2条第3項第8号に定める社外監査役であります。

主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレンシャルギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	無機防汚コーティング剤 アルコール検知器 自動車シート保護防汚コーティング 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載し、そのアドレスは次のとおりです。 https://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

《ご注意》

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

《ご案内》

- 1.2014年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
2014年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けてください。
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

主な取扱商品

ボディコーティング



CPCボディアーマー マキシム CPCスーパープレミアムコーティング エクスG

- 役割の異なる3重のガラス質被膜をボディに形成。自動車用ボディコーティングに求められる機能・特性を最高レベルで発揮します。



CPCプレミアムコーティング ダブルG / ダブルGベータ

- 自動車の塗装面に2重のガラス質被膜を形成。光沢・艶・膜厚感・持続性・汚れから守る効果等、全てを最高レベルで実現します。

※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。



グラスコーティングガードコスメ ／ガードコスメSP

- ガラス質被膜とフッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、高級感のある輝きや光沢を一層際立たせます。

※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。



CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

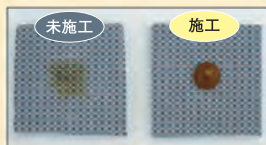


自動車のシートを汚れなどから守る

CPCファブリックコーティング CPCレザーコーティング



- 車内も美しく快適に保ちたいとのニーズに応え開発。ファブリック（繊維）とレザー（本革）の2タイプを用意しています。



※ファブリックコーティングのコーヒー滴下テスト。水分や油分の染み込みを抑え、汚れからシートを守ります。



※レザーコーティングの擦りテスト。保護効果で本革の表面を守り、シートの劣化を抑制します。

メタルトリートメント MT-10 (エムティーテン)

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エンジンリフレッシャーは、エンジン内部に付着した汚れに浸透し、オイル内部に分散して洗浄するエンジンフラッシング剤です。



※MT-10エフィが日刊自動車新聞用品大賞2017「ケミカル部門賞」受賞。



抗ウイルス効果も持つ環境保護システム C.A.W 抗菌・防臭チタニア

- 抗ウイルス・抗菌・防臭効果を持つ特殊チタン化合物を空間のあらゆるところに噴霧・コーティングするシステムです。
- 自動車用の車内環境保護コーティングとして15年以上の販売実績を持ち、その優れた効果や安全性などからニーズが拡大。様々な生活空間で、抗ウイルス・抗菌・防臭効果を発揮しています。

SIAA抗菌マークとSIAA抗ウイルスマークを取得しています。



※CPCファブリックコーティングとのセットで、日刊自動車新聞用品大賞2021「ウイルス対策部門賞」を受賞。

EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



※未施工ガラス面の水接触角



※施工済ガラス面の水接触角

Japan-Central Automotive Approved

J.C.A.P.

プライベートブランド
“J.C.A.P.”シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



SOCIAC アルコール検知器 “ソシアック”シリーズ

- 多数の官庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。
- 測定履歴が保管できるタイプや、アルコール検知器の故障の有無を確認できる「テスターキット」も含め、プロドライバーにシリーズとして選ばれています。



※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「セーフティ部門賞」、同2011「セーフティ部門賞」受賞。

売上代金の一部を公益財団法人交通連環等育成基金へ継続して寄付させて頂いております。

海外拠点を拡充・活用しながらグローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へと、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。

